



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
コード番号 4393 URL <https://www.boi.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
問合せ先責任者(役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	10,777	△39.8	1,332	△72.1	1,356	△71.7	851	△74.1
2023年9月期第3四半期	17,914	—	4,770	—	4,789	—	3,293	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 851百万円(△74.1%) 2023年9月期第3四半期 3,293百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	213.30	—
2023年9月期第3四半期	823.30	816.35

(注) 2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,036	4,422	73.3
2023年9月期	8,093	3,678	45.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 4,422百万円 2023年9月期 3,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

2024年9月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	4,003,000株	2023年9月期	4,003,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	28,536株	2023年9月期	60株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	3,991,908株	2023年9月期3Q	4,000,826株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっているほか、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2023年における世界のモバイルゲーム市場規模は8兆7,916億円、そのうち日本国内では1兆1,886億円と高い水準で推移しております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2024」）。

このような事業環境のもと、当社グループでは、中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び既存アプリの運営に取り組んでまいりました。『メントモリ』のGW時期のユーザー獲得が想定より振るわなかったほか、2024年5月21日にはApk版をリリースいたしました。リリース初年度にあたる前年同期と比較すると減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,777百万円（前年同四半期比39.8%減）、営業利益は1,332百万円（前年同四半期比72.1%減）、経常利益は1,356百万円（前年同四半期比71.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は851百万円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,057百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2,596百万円減少、売掛金が369百万円減少、有価証券が600百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,613百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,801百万円減少いたしました。これは主に、未払金が348百万円減少、未払法人税等が1,403百万円減少、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む。）が291百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ744百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を851百万円計上したこと、並びに自己株式を106百万円取得したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、高品質ゲーム及びサービスの開発、世界同時運営及びグローバルIP展開等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。

連結業績予想については、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,417	2,821
売掛金	2,030	1,661
有価証券	—	600
その他	237	557
流動資産合計	7,686	5,640
固定資産		
有形固定資産	58	59
無形固定資産	4	3
投資その他の資産	343	332
固定資産合計	407	395
資産合計	8,093	6,036
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	374	235
未払金	1,432	1,084
未払法人税等	1,403	—
その他	878	127
流動負債合計	4,087	1,446
固定負債		
長期借入金	181	28
その他	145	138
固定負債合計	327	166
負債合計	4,415	1,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	2,400	3,252
自己株式	△0	△107
株主資本合計	3,678	4,422
純資産合計	3,678	4,422
負債純資産合計	8,093	6,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	17,914	10,777
売上原価	8,033	5,623
売上総利益	9,881	5,154
販売費及び一般管理費	5,111	3,821
営業利益	4,770	1,332
営業外収益		
受取手数料	30	26
その他	0	2
営業外収益合計	30	28
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	5	—
支払手数料	0	1
営業外費用合計	11	5
経常利益	4,789	1,356
税金等調整前四半期純利益	4,789	1,356
法人税等	1,495	505
四半期純利益	3,293	851
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,293	851

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,293	851
四半期包括利益	3,293	851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,293	851

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3百万円	12百万円